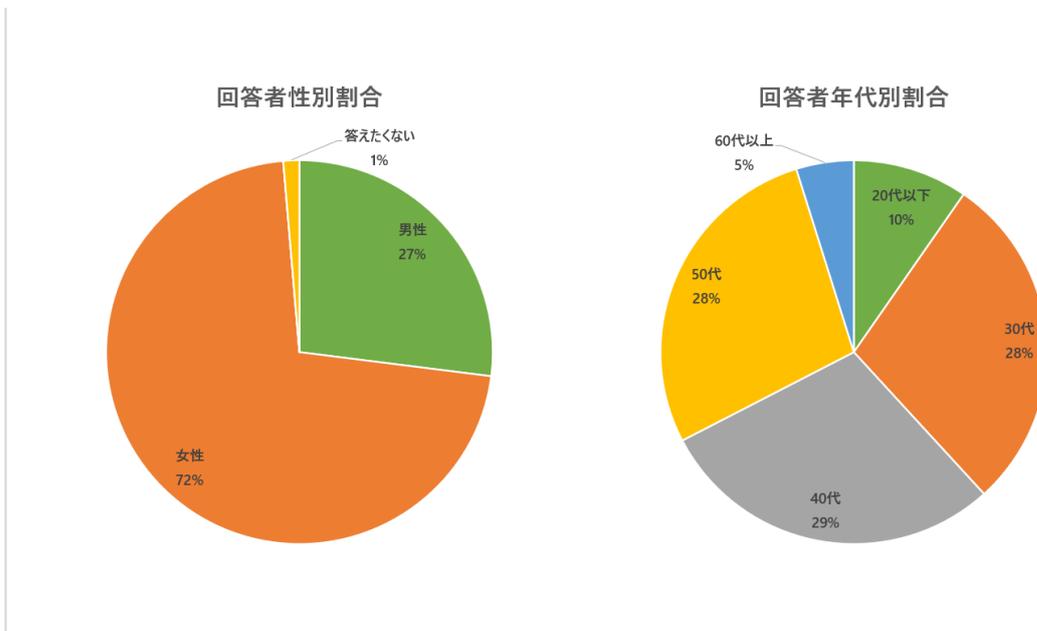


## ■アンケート概要

テーマ	働きやすさに関するアンケート
調査対象者	&BIZ 会員
調査期間	2024年9月9日～2024年9月23日
実施方法	Web アンケート
回答者数	374人

## ■回答者属性

回答者の性別・年代の割合は以下の通り

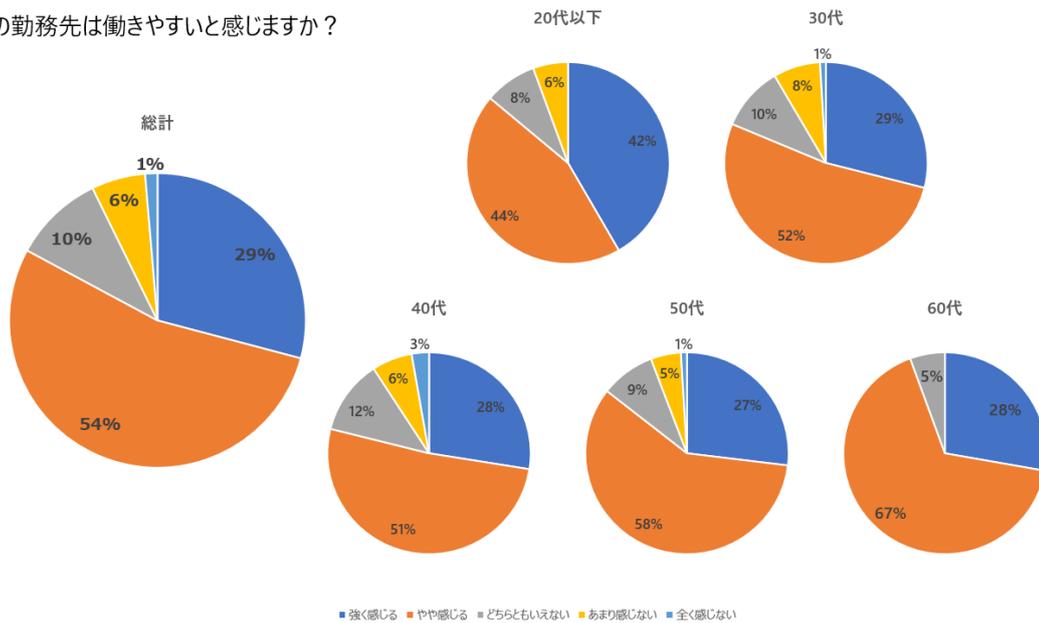


## ■働きやすさについて

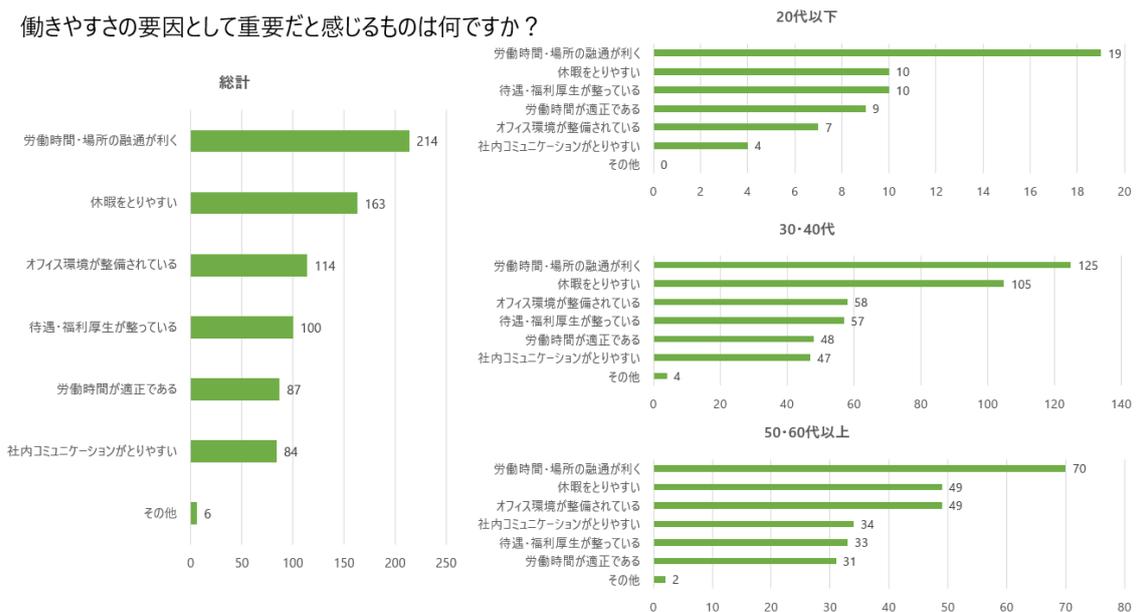
83%が「働きやすい」という回答（「強く感じる」「やや感じる」合計）であり、年代による差異はほとんど見られなかった。

また、働きやすさを感じる要因としては、「労働時間・場所の融通が利く」、「休暇をとりやすい」は共通して上位だったが、20代のみ「待遇・福利厚生が整っていること」が3位だった。

現在の勤務先は働きやすいと感じますか？



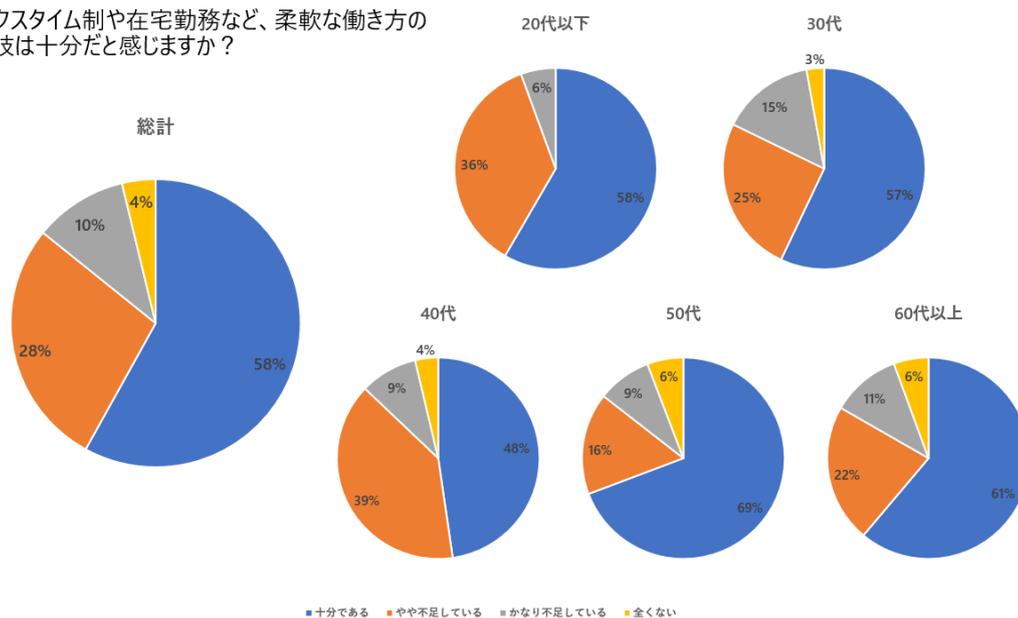
働きやすさの要因として重要だと感じるものは何ですか？



■柔軟な働き方について

勤務先の柔軟な働き方の選択肢が充実しているかという設問に対しては、40代のみ48%だが、他年代は約60%以上が十分と感じているという回答だった。

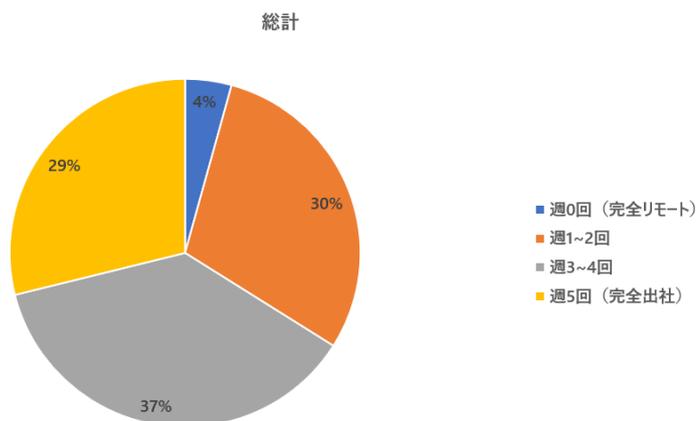
フレックスタイム制や在宅勤務など、柔軟な働き方の選択肢は十分だと感じますか？



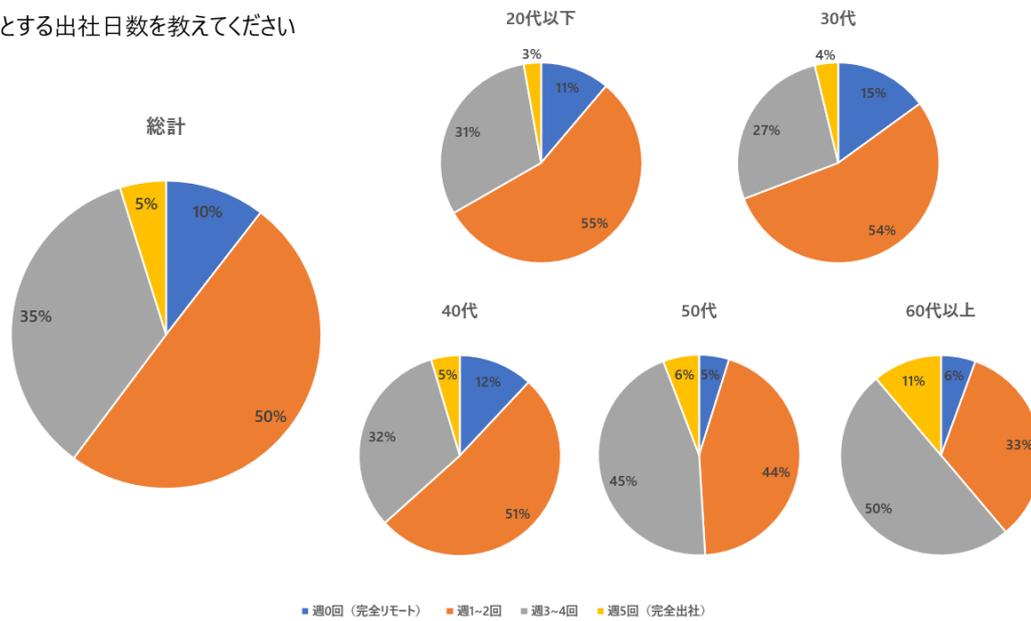
現在の出社日数については、完全リモートワークは 4%と最も少なく、週 1~2 もしくは週 3~4 回の出社というリモートワーク・出社のハイブリットな働き方が多かった。完全出社（週 5 出社）をしているという回答は約 30%だった。

一方、理想の出社日数は週 1~2 回という回答の割合が多く（総計 50%）、週 5 回の回答が最も少なかった（総計 5%）。

現在の出社日数を教えてください



理想とする出社日数を教えてください



柔軟な働き方に関するフリーコメントでは、

- ・「在宅ワークの再開」
- ・「時間給の取得」

等のほか、

- ・「フレックス勤務の全社適用」
- ・「フレックスタイム制だが、取りにくい雰囲気のある部署もある。取りにくさを感じることなく、一律に取れるようになるべき」

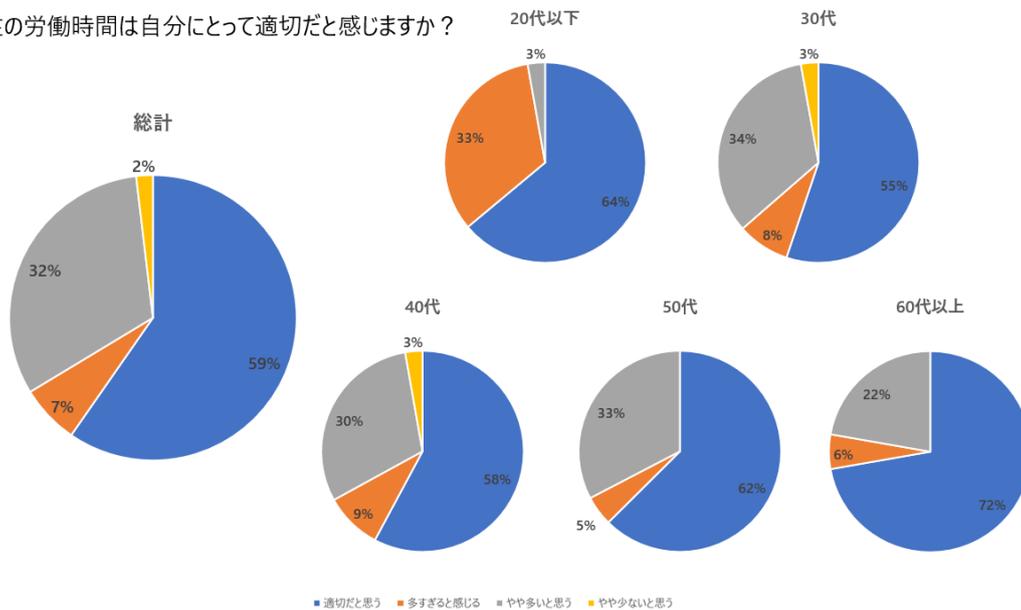
といった、公平な制度設計、利用上の課題についてのコメントも見られた。

#### ■労働時間の適切さについて

「現在の労働時間は自分にとって適切か」という設問については、総計で 59%が「適切だと思う」と回答し、「適切だと思う」という回答の年代による割合の差異はほとんど見られなかった。

20代のみ、「多すぎると感じる」という回答が 33%と、他年代に比べて多かった。

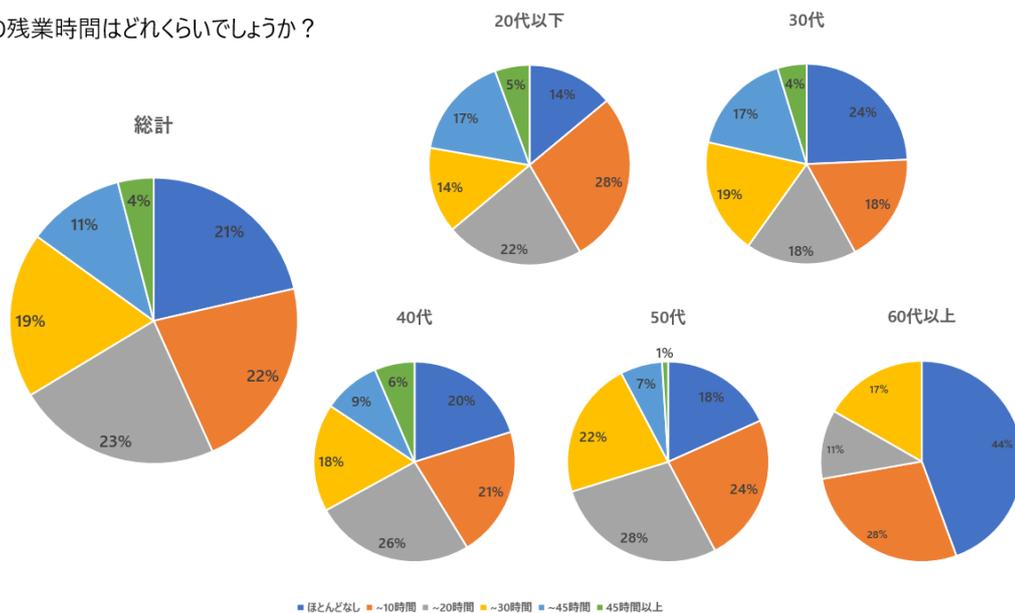
現在の労働時間は自分にとって適切だと感じますか？



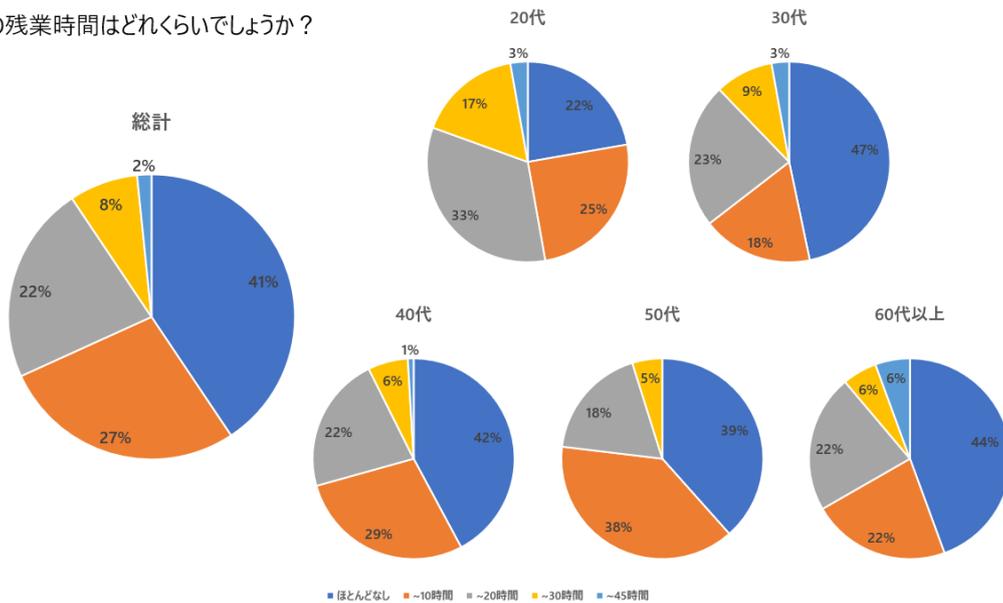
現在の残業時間は、年代ごとに大きな違いは見られず、回答割合は~30時間以下でほぼ均等だった。

理想の残業時間については、30代以上は「ほとんどなし」という回答が最も多かったが、20代のみ「~20時間」を理想とする回答が33%と、「ほとんどなし」の22%を上回る結果となった。

現在の残業時間はどれくらいでしょうか？



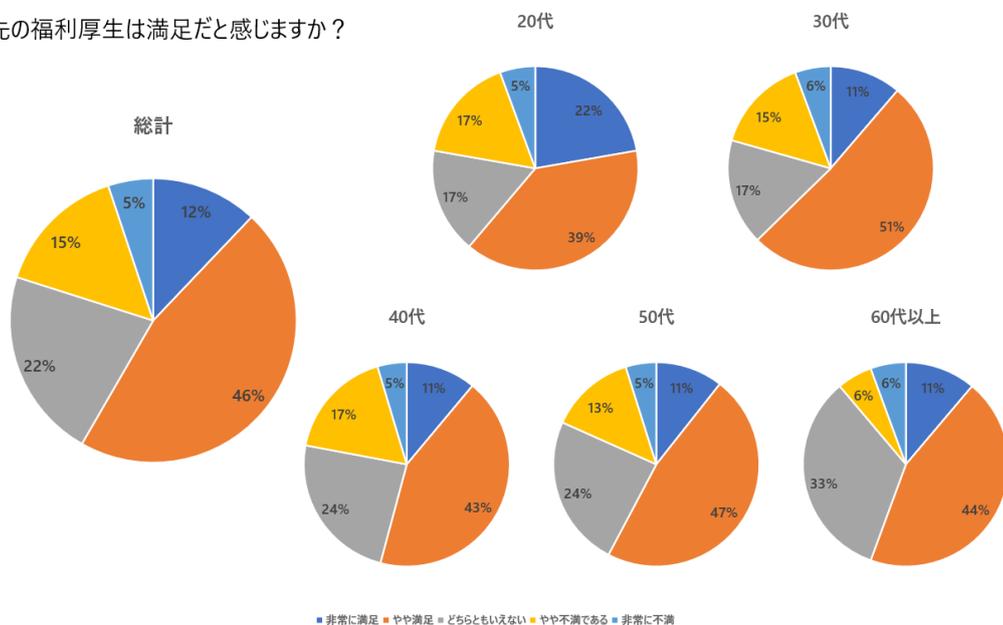
理想の残業時間はどれくらいでしょうか？



### ■福利厚生について

勤務先の福利厚生については、全年代で満足しているという回答が多く、「非常に満足」「やや満足」の回答の合計は約 60%程度だった。

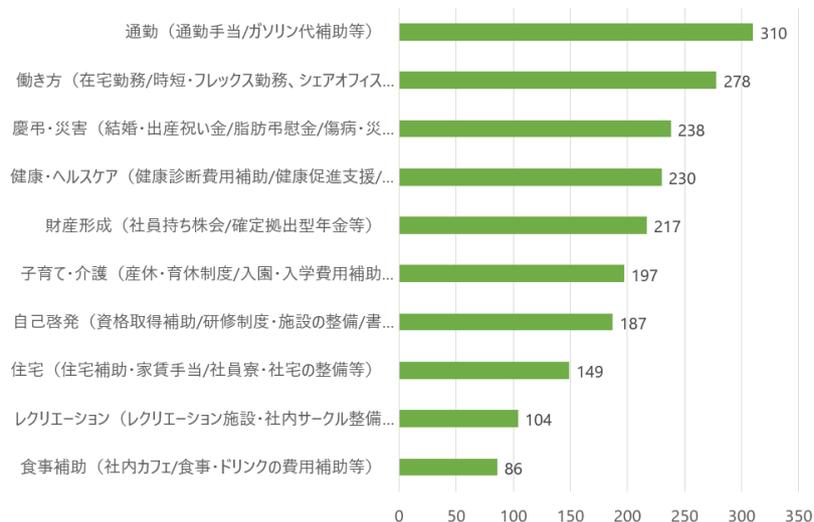
勤務先の福利厚生は満足だと感じますか？



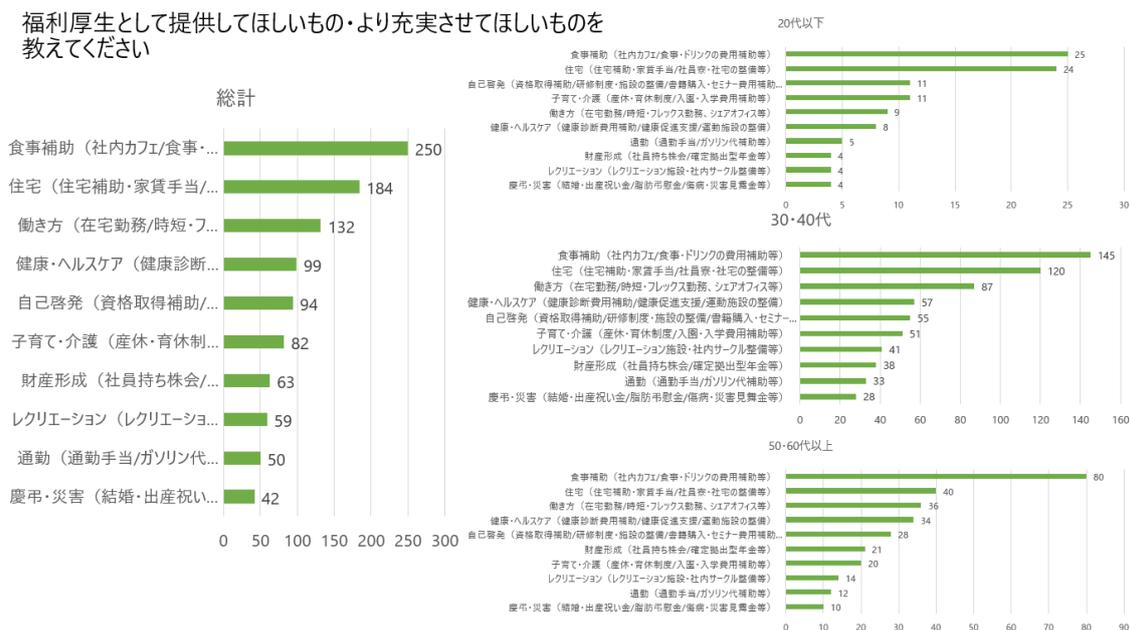
現在提供されている福利厚生の上位3カテゴリは、「通勤」「働き方」「慶弔・災害」だった。最も回答が少なかったのは「食事補助」に関するものだったが、

提供してほしい・より充実させてほしい福利厚生として最も多かった回答も、年代を問わず「食事補助」に関するものであった。

現在の会社で提供されている福利厚生を教えてください



福利厚生として提供してほしいもの・より充実させてほしいものを教えてください



福利厚生に関するフリーコメントでは、

「勤務先エリアのランチが混雑する上に高いため、少しでも食事補助があると助かる」

「もっと旅行に安く行けたり補助が出るなどプライベートも充実できるものがよい」

などの具体的な要望の他、

「不公平感のないように様々なタイプの人に使える福利厚生であったり、設備充実を今後行っていただきたいです」

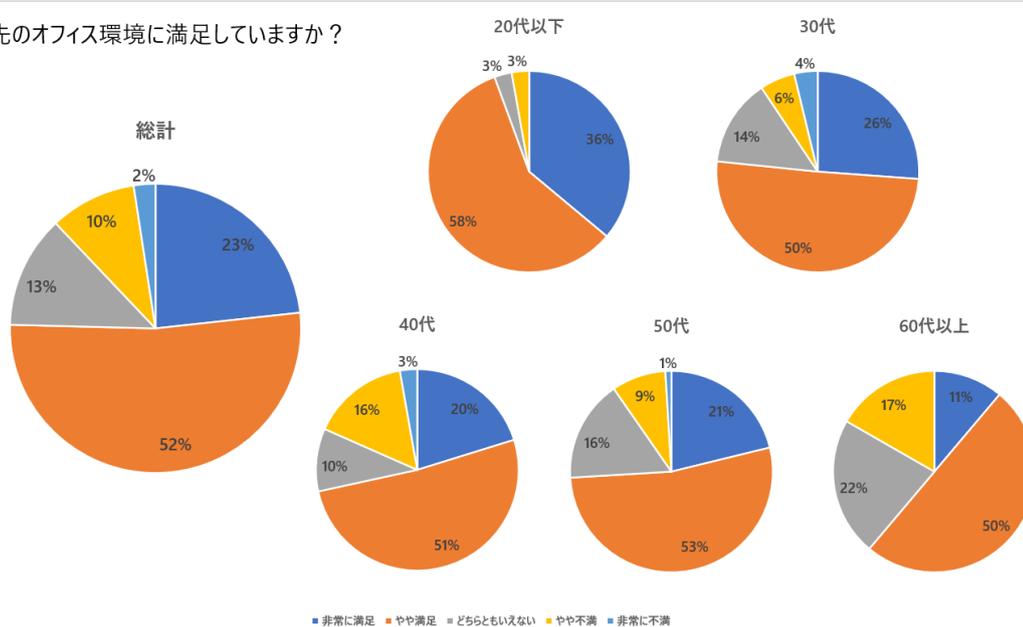
などの利用のしやすさについてのコメントも見られた。

### ■ オフィス環境について

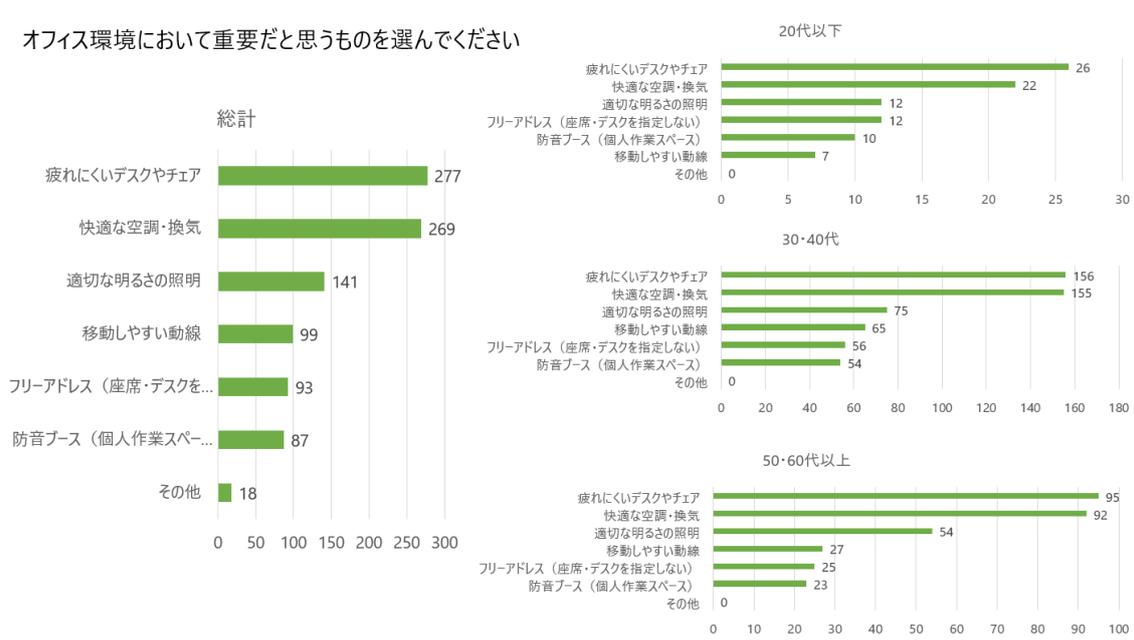
勤務先のオフィス環境については、年代を問わず満足しているという回答が最も多く、「非常に満足」「やや満足」と合わせて約75%程度（20代のみ94%）だった。

オフィス環境において重要だと思うものの上位3つは、「疲れにくくデスクやチェア」「快適な空調・換気」「適切な明るさの照明」であり、全年代で共通だった。

勤務先のオフィス環境に満足していますか？



オフィス環境において重要だと思うものを選んでください



オフィス環境に関するフリーコメントでは、

「フリーアドレスで職場のコミュニケーションが下がることが心配」

「フリーアドレスになったことで、業務上で関わらない人のことが分からなくなった」

など、コミュニケーションへの影響についてのコメントが見られた。

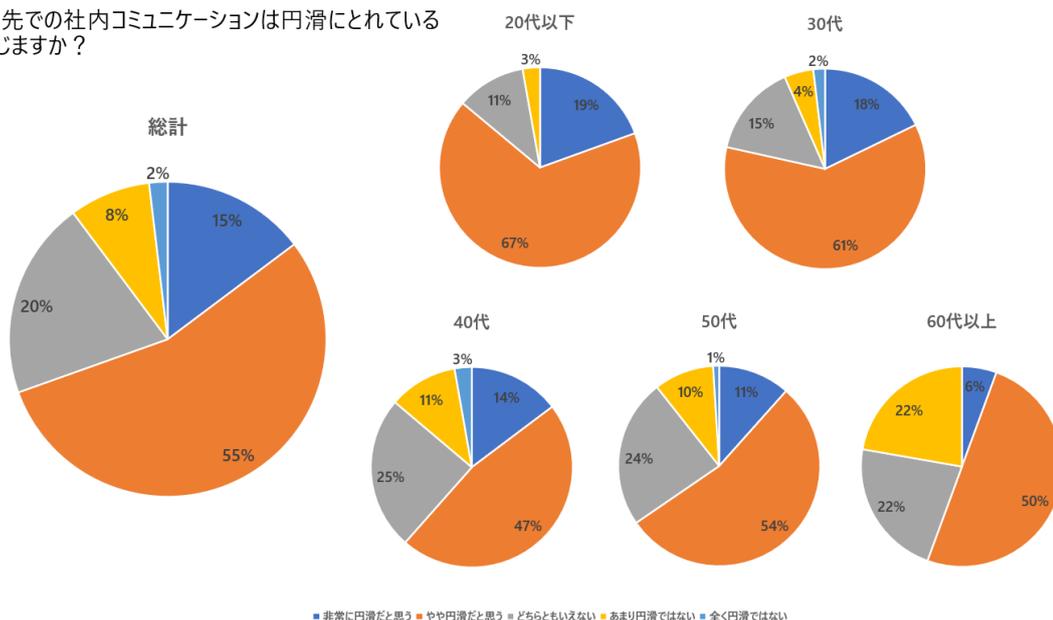
#### ■社内コミュニケーションについて

社内コミュニケーションが円滑にとれているかについては、30代以下では約80%、40代以上では約60%が「円滑だと思う」という回答だった。

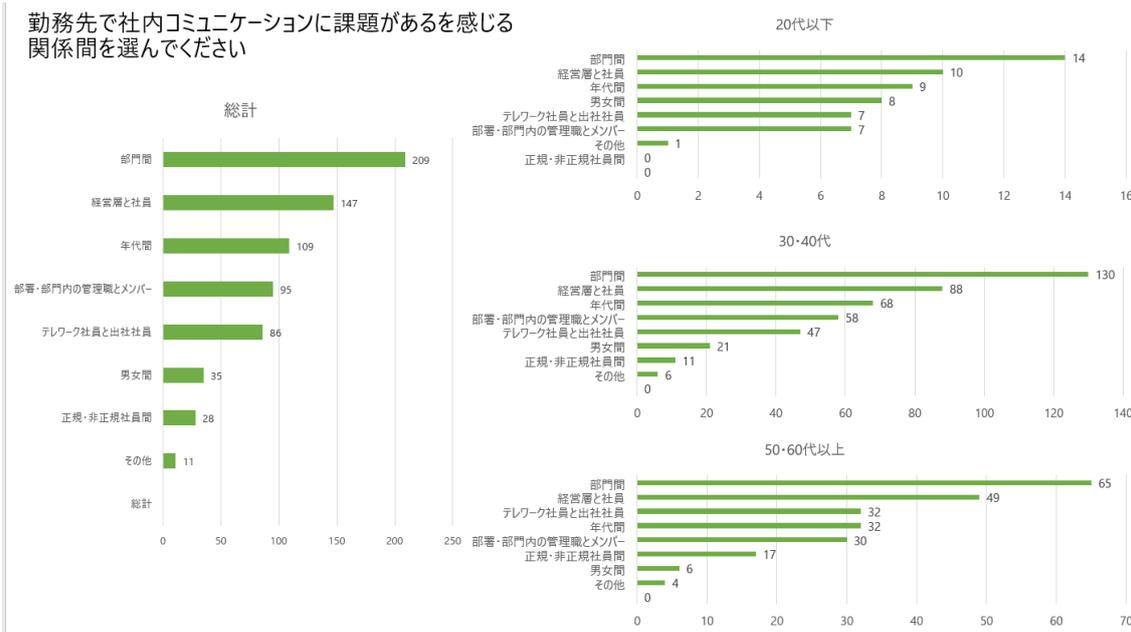
※60代以上は回答数が少ないため除く

また、コミュニケーションに課題があると感じる関係間では、「部門間」「経営層と社員」の回答が多かった。

勤務先での社内コミュニケーションは円滑にとれていると感じますか？



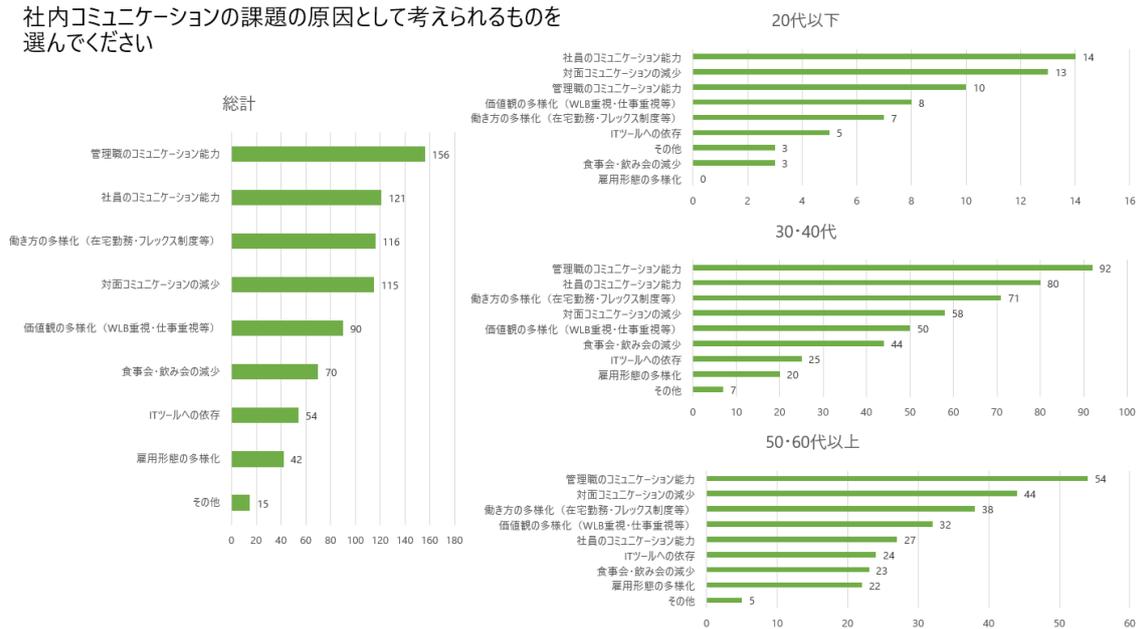
勤務先で社内コミュニケーションに課題があるを感じる関係間を選んでください



社内コミュニケーションにおける課題の原因としては、20代以下では「社員のコミュニケーション能力」、30代以上では「管理職のコミュニケーション能力」という回答が最も多かった。

また、20代以下、50代以上では「対面コミュニケーションの減少」が2番目に多かった。

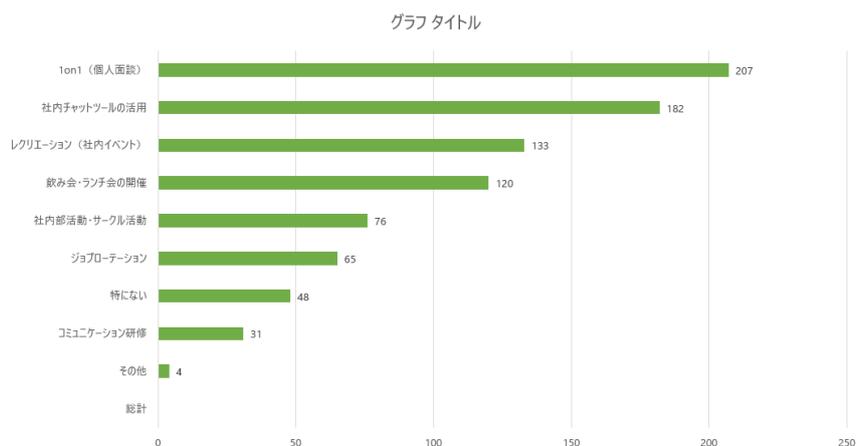
社内コミュニケーションの課題の原因として考えられるものを選んでください



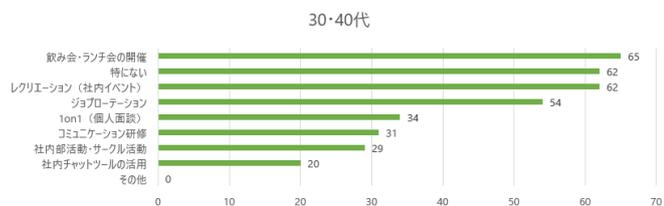
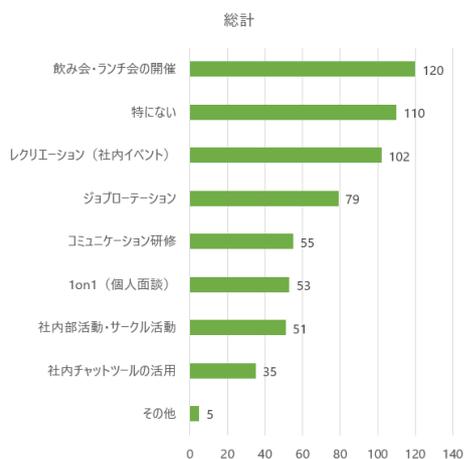
勤務先企業において実施されている社内コミュニケーションを活性化させるための取り組みの上位3つは、「1on1」「社内チャットツールの活用」「レクリエーション(社内イベント)」だった。

勤務先企業に実施してほしい取り組みでは、「特にない」を除けば「飲み会・ランチ会の開催」「レクリエーション(社内イベント)」の回答が全世代で多く、業務外でのコミュニケーションの機会創出が求められているようだった。

社内コミュニケーションを活性化させるために勤務先企業が実施している取り組みを教えてください。



社内コミュニケーションを活性化させるために勤務先企業に実施してほしいと思う取り組みを教えてください。



社内コミュニケーションに関するフリーコメントでは、

「子どもがいるため、夜の飲み会は参加できないので、ランチ会を開催してもらえたらコミュニケーションも取れて嬉しいです」

「社風や、部署同士がなにをやっているかの共有を定期的に行う」

「同世代のみで交流することが多く、世代間ギャップが乗り越えられる思考やコミュニケーション力の醸成」

「経営層とカジュアルに対話できる機会を増やしてくれると嬉しい」

などが見られた